

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010332

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道排水改修事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	排水改修箇所		#N/A	
事業目標	8箇所	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	排水改修 4箇所 【平成26年度】 市街地(港町)、開生3号線 【平成27年度】 市街地(魚田)、栄丘幹線 【平成28年度】 新日の出地区、沢木地区 【平成29年度】 音稲府乙開拓線、栄丘線		・市街地(港町) ・開生3号線	・市街地(魚田) ・栄丘幹線	・音稲府乙開拓線 排水改修L=18m ・栄丘線 排水改修L=28m ※補正繰越(H29実施) 8,000千円	・音稲府乙開拓線 排水改修L=18m ・栄丘線 排水改修L=28m ※補正繰越(H28→H29実施) 8,000千円
				①新日の出地区排水改修 排水改修L=45m ②沢木地区排水改修 排水改修L=35m ※補正繰越(H28実施) 5,800千円	①新日の出地区排水改修 排水改修L=43m ②沢木地区排水改修 排水改修L=41m ※補正繰越(H27→H28実施) 5,800千円	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	31,800	0	11,000	12,800	8,000
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他	0				
一般財源	31,800		11,000	12,800	8,000	0
実 績 事 業 費	事業費(千円)	34,096	0	10,800	9,720	5,692
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債 その他	0				
一般財源	34,096		10,800	9,720	5,692	7,884
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		(実施内容等) ・市街地(港町) ・開生3号線	(実施内容等) ・市街地(魚田) ・栄丘幹線 ・東浜線(9月補正) ※①②は補正繰越(H28実施)	(実施内容等) ①新日の出地区排水改修 排水改修L=43m ②沢木地区排水改修 排水改修L=41m ※補正繰越(H27→H28実施)	(実施内容等) ・音稲府乙開拓線 排水改修L=36m ・栄丘線 排水改修L=28m
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	2箇所	3箇所	2箇所	2箇所
		年度達成率	#DIV/0!	98%	76%	71%
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	0%	34%	65%	82%
		備考欄				107%

事業名	町道排水改修事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	排水	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	排水改修箇所
【抱える課題やニーズは】	道路から採草地等への雨水の流入	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路敷地内における雨水の処理	① 排水改修箇所/排水改修箇所	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	採草地等への雨水の流入防止		目標値 2箇所
			実績値 2箇所
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成29年度
			目標値 〇〇
			実績値 〇〇
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、排水改修を実施した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道排水の維持管理は、道路管理者となることから、排水改修は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、排水機能が確保されたことで、採草地等への雨水流入を防止することができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	当該事業を実施したことにより、採草地等への雨水流入を防止することができたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	排水機能が確保されたことによる採草地等への被害を未然に防止できことは、概ね公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
平成29年度事業終了。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了    ○休止    ○廃止